

# 三條別院のご案内

真宗大谷派 三條別院

TEL : 0256-33-0007

Email : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

## 三條別院に想う

三條別院は、一如上人を開基として創設されて以来、昔も今も現在の三條教区の地域内の間法の中心道場である。

私が帰郷して自坊にもどり、教区の児童教化連盟、ボーイスカウト、仏教青年会などの活動を始めた頃は、様々な行事を催してもなかなか多くの御門徒さんや市民の方々に参加していただかず、先輩の方々と共に悩んでいたものだった。そんなときに、青少年教化活動をしていた人達を中心に、多くの人が集まって楽しむ祭りのような事が出来ないか、という話が持ち上がり、実現に向けて企画会議が始まった。当時は月に何度も集まり、意見を出し合った。その中で教区内のスタッフだけではなく、広く三條市内で色々な活動をしている団体や個人を巻き込んで大きなイベントに行こうということになり、何とか様々なつてを頼って多くの人に参加を募った。会議の後に食事をしたり、酒を酌み交わしたことも懐かしく思い出される。苦勞の甲斐があり、「別院フォーラム」という名で催されたイベントは成功のうちに終わり、皆で喜び合ったものだった。それが今「御坊市」という名で続いている。それ以後企画された様々な行事の先駆けだったのでないかと、最

初の立ち上げに関わった一人として少し誇らしくも感じている。

二十年も前の思い出話に終始してしまっただが、現在別院の境内、設備の整備は進み、別院、教区のスタッフの熱心な活動により、三條教区宗祖七百五十回忌、法要も無事に円成した。これからは通常の別院、教区の活動にもどって行くことだろう。今まで以上に皆で知恵を出し合い、活気のある別院としていきたいものである。この先も三條別院は、教区の間法の中心道場であり続ける。

### 第十九組法嚴寺住職 光井光麿氏

○次回の「三條別院に想う」は、

佐藤セツ氏(第二十一組超願寺門徒)より

ご執筆いただきます。



## 煤払い奉仕団報告

本山の御煤払いは毎年十二月二十日に行われますが、三條別院では第十八組主催の別院奉仕研修に併せて開催し、一年の煤を払いだします。本年は十二月十三日に行われ、十二日には第十八組の靖国問題研修会と兼ねて、村山教二氏(第十一組願興寺衆徒)により、現代の安保関連法案と靖国問題について真宗門徒としてどのように受けとめるのかについて講義があり、翌日には三條別院有志の会、九月に結成された庭講の講員が加わり、職員を含め総勢六十名での奉仕研修となりました。はじめに池守輪番と第十五組淨圓寺御住職による御本尊と宗祖真向の御影の煤払いが行われ、その後、本堂並びに諸殿の清掃となりました。

一日目に懇親会があり、御門徒とお話しする機会が有り、「一年に一度、三條別院にお参りして、本堂のお荘嚴を間近に清掃するのが楽しみだ」という言葉を聞きました。本堂の清掃をすることで、本堂の歴史と荘嚴が語りかけるものを聞く、そのような場として、毎年行われる煤払いの意味は大きいと感じました。(齋木)



# 御正忌報恩講団体参拝報告

本年度も真宗本願御正忌報恩講団体参拝に行つてまいりました。十一月二十七日早朝に新潟を出発し、東本願寺に向かう道中にて降雪による渋滞が発生し四十分ほど遅れて到着するというトラブルもありましたが、車内では別院・教務所職員による東本願寺クイズや、上越市・富山県・石川県ご当地クイズなどで終始和やかな雰囲気でありました。二十七日は京都市内で宿泊し、二十八日の御満座では、坂東曲にお会いすることができました。内陣で式文拝読の合間に突然として声を張り上げる御鍵役と、それに続く外陣の大勢の助音方の迫力は、映像では味わう事の出来ない経験でありました。これは団体参拝でしか味わえない感動だと思えます。三条別院では来年度も本山参拝を企画する予定ですので、皆様のご参加をお待ちしております！



(森尻)

# 宗祖御命日の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

なお、前日(二十七日)はお逮夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

◇日時 一月二十八日(木) 午前十時より

◇会場 三条別院 本堂

◇お勤め(御命日 日中法要)

文類偈 行四句目下

念仏讃 洵五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

米山裕子氏 (真宗学院第一期卒業生)

— 『歎異抄』に聞く【第一章】—

◆一月の御命日のついでより、『歎異抄』に聞く』という内容で、第一章から順にお話いただきます。



◇今後の講師一覧

二月 有坂次郎 (三条別院会計) 【第二章】

三月〜定例布教講師が順次法話を行います。

# 定例法話会

毎月十三日の前門首のご命日(両度の命日)に行っている定例法話会は、一月は休会となります。二月より左記の通り開催します。

◇日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く

◇場所 午後一時三十分より(一時間程度) 三条別院 旧御堂

◇講師

二月〜四月 齊藤 研氏(第十五組 正樂寺)

〜真宗入門〜

五月・六月 村山教二氏(第十一組願興寺)

七月 松岡誠一氏(仏像文化財修復工房)

〜親鸞聖人御木像調査について〜

# その他の講座案内

◎別院書道教室(全五回)

(月一回、午後六時〜八時)

二月十八日(木)、三月十七日(木)

四月二十一日(木)、五月十九日(木)

六月十六日(木)

講習内容 真宗大谷派勸行集(赤本)

講師 長田 暢氏(第十六組 善曇寺)

参加費 五〇〇円/回

今回は真宗大谷派勸行集(赤本)から、正信偈草四句目下、念仏讃三濁、回向、御文、同朋奉讃式などを皆さまとお声を合わせてみたいと存じます。また、実際に筆で節符をなぞりながら声を出すことで、声明節符をひもといってみます。詳しくは別紙案内チラシをご覧ください。



# ◎別院書道教室

(月一回第二、第四水曜日、午後六時三十分〜八時)

講師 木原光威氏(新潟県書道協会理事)

月謝 一五〇〇円(テキスト代含む)

### 〇三条別院巡回

三条別院の御影をお迎えして、聞法会を開催しませんか？

### 〇別院奉仕研修

日程及び内容については、ご相談ください。

◎冥加金 日帰り一五〇〇円、一泊二百一五〇〇円

◎食事代(昼・夕食は業者発注のため)

・朝食代 五〇〇円、昼食代 一〇〇〇円程度

・夕食代 一三〇〇円程度

### 〇三条別院有志の会

もともと三条別院のお朝事にお参りしているご門徒からはじまった清掃奉仕・法話・座談を中心とした有志の会です。月一回の例会、別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。参加希望の方は、ぜひ別院までご連絡ください。

### 〇庭講(清掃講)

二〇一五年九月に結成された、生まれたてのホヤホヤのお講です。現在、講員は全員で十一名。さらに多くの方々と一緒に活動をしたいと現在講員大募集中です！

ぜひ、御一緒に清掃奉仕と十二日の定例法話の聴聞をしませんか！講員一同、心からお待ちしております！

なお、一月は休会となります。



### 同朋会館に宿泊される方へお願い

同朋会館に宿泊される方は、宿泊当日に同朋会館一階の事務所にございます宿泊者帳に記帳してください。その後シートクリーニング代五〇〇円とシートを交換させていただきます。

なお、宿泊される方は、翌朝七時より本堂にて晨朝が動きますので、お参りいただきますようお願い致します。

### ◆編集後記◆

正職員になり半年が経ちました。この半年間は自分の仕事のすべき事の把握と速やかに仕事を行える環境作り、一言でいうと「身の周りを整える」ことに努めてまいりました。

そのうえで今後、自分が成すべき事が少しずつ見えてきた気がします。

毎年、開講させていただいております声明教室では次回講師の第十六組善興寺御住職・長田暢氏と御相談させていただき、声明を耳で聞いて習うだけでなく節譜を筆でなぞることににより目と体の感覚でリズムを刻んで体感する、より声明に対する理解を深めていただけるのではないかと思います。新たな試みをさせていただこうと考えております。

また、今年の九月に結成された庭講の今後の方針に関しては、他教区の講の状況を参考にさせていただいたため講員の方々と小松教区に視察に行かせていただく予定を立てております。

さらに、三条別院のお取り越し報恩講・年頭会



お取り越し報恩講後に、34名の参加者と共に、恒例の本山御正忌団参を行い、信心を確かめた。「歳末の礼には、信心をとりて礼にせよ」(『蓮如上人御一代記聞書』、真宗聖典 857 頁)  
御遠忌の年が終わり、新たな一年がはじまります。

に長年、御協力・御懇志をいただいております「世話方」の方々につきまして、御挨拶をかねて近況をお尋ねしにまわりたいとも思っております。実は、三条別院に現在残っている「世話方」資料はかなり古いもので電話番号や細かい番地等も載っておりません。中には代替わりをしているにも係わらず別院も詳しく状況を把握しきれない方もおります。御自宅が何処にあるのか詳しくわからない方々につきまして、その近郊にお住いの御住職方・御門徒方に御存知かどうかお尋ねすることもあると思いますが、その際には何卒宜しく御協力お願い致します。

今年の別院の行事も残すところ年末の「除夜の鐘」のみとなりました。

皆様、こそつておいでいただければありがたいと思っております。

(松浦寿)